

火星の大接近を見よう

★2018年7月31日に地球と大接近します！

太陽のまわりを約2年で公転する火星は、今年が地球と接近する年です。

そして2003年以来15年ぶりの大接近する火星（スーパーマーズ）が観察できます。

いちばん接近する日は、7月31日で、明るさ-2.8等級で輝く火星が見られるでしょう。

★火星の観察

火星は土星のリングや、木星の縞のような目立つ模様ではなく、月のように暗い色の模様が見られます。

模様の明るい部分は砂漠のような地域、暗い部分は岩盤だと思われています。また北極や南極には白く見える極冠と呼ばれる模様があります。

火星の観察は少しむずかしく、対物レンズの口径が大きい望遠鏡が有利で、100~200倍くらいの倍率での観望がおすすめです。

大接近の前後約1か月の期間は、夜空で最も明るく輝く火星の観察が楽しめるでしょう。

★火星の見える位置

●2018年5~6月の火星

深夜に南東の低空から昇り始めます。5月は-0.5等級の明るさです、6月には-1.0等級へと明るさを増し、夜半前に南東の空から昇ります。6月は梅雨入り前に観察しましょう。

●2018年7月の火星

梅雨時、晴れ間があれば午後8時頃には、南東の空から昇る火星が見られます。-2等級でオレンジ色の輝きです。

●7月31日大接近日の火星

日没夕刻になれば東の空を昇る赤い星が火星で-2.8等級で輝きます、真夜中には南の空、夜明け前には西の空に見え、一晩中観望できます。

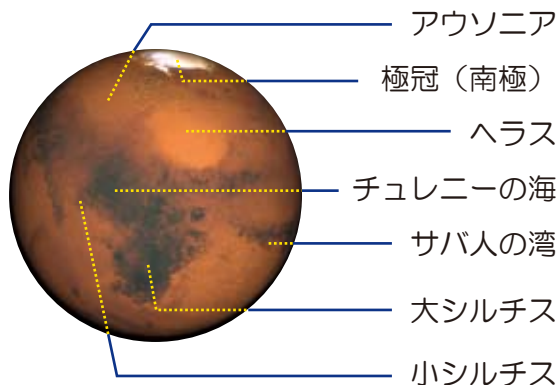
●8~9月の火星

大接近後でも8月中はまだまだ観察しやすく-2等級の明るさで輝きます。9月から初秋にかけても-1等級の明るさで、夜半前に南の空で観望できます。



★望遠鏡で見たイメージ

★火星のおもな地名



★2018年火星の動き

